

災害支援体制研修会

参加無料!

～初動時の集団迅速アセスメントからの地域評価～

繋ぐ! 地域へ

阪神淡路から、新潟から東日本から、そして熊本から繋ぐ!
支援から地域へ繋ぐ!

あの日から、阪神淡路大震災から、25年が経ちました。

阪神淡路大震災で大きく注目された「災害関連死」と、その死因の約四分の一を占めたとされる「肺炎」は、1999年に発表された米山論文によって「口腔ケア」と繋がりました。その後も阪神淡路大震災での貴重な教訓は、多くの関係者によって、新潟へ、東日本へ、そして熊本へと繋がりに続いています。

それと同時に、日本における災害時の歯科支援体制も大きく進化し、統一アセスメント票を活用した多職種連携による口腔ケアに加え、被災後の地域評価に基づく災害関連疾病の予防や食べる支援といった役割も期待されています。

ぜひこの機会に、グループワーク、グループ討議を通じて
検討し、意見交換しましょう。

- * 歯科口腔保健 集団迅速アセスメント
- * アセスメント総括票からの地域評価
- * 被災後の災害関連疾病の予防と食べる支援



災害時の歯科保健医療体制に興味のある歯科職、および、災害時の
地域支援に携わられる可能性のある保健医療介護福祉職の方々の
ご参加をお待ちしています!

お申込みは、学術大会HPより <http://jsdmcp29.org/09.html>

担当: 中久木康一 (東京医科歯科大学・日本災害時公衆歯科衛生研究会)
太田秀人 (筑紫歯科医師会・日本災害時公衆歯科衛生研究会)
門井謙典 (兵庫医科大学・日本災害時公衆歯科衛生研究会)

定員60名